

事業所名 医療法人緑樹会グリーンビュー鯉山
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年12月 5日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 特別養護老人ホーム勤務
資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 高等学校非常勤職員、訪問指導員
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉環境コーディネーター、健康生きがいづくりアドバイザー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>「理念として、「尊敬の心」、「支援の心」、「追求の心」、「専任の心」を掲げ、入居者の今を大切に、家庭的な雰囲気の中で自分らしくこれからの人生を過ごしてもらつための支援をめざしている。</p> <p>・継続的に医療面での治療(透折など)が必要な方も可能な限り受け入れ、健康面での不安が無く、安心して生活できる場の提供に努めている。</p> <p>・心身機能の低下予防や安定を図るため、積極的にリハビリや音楽療法を取り入れ、日常生活の活性化に努めている。</p> <p>・介護資質のレベルアップを常に心がけ、入居者に対して尊敬の念を持ち、種々で丁寧な対応で入居者の暮らしを支え、心豊かに過ごせる環境作りを努めている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>・居間には、ゆったりとしたソファや畳スペース等がバランスよく配置され、入居者が自分の好きな場所で居心地よく過ごせる空間作りを行っている。また、居間には空気清浄機やミネラル水製造機もあり、清潔で入居者の健康にも配慮した環境を整えている。</p> <p>・職員には、回診係や整容係、行事係などの各係を作り、入居者とより深く触れ合う中で個々の現状や要望を適切に把握し、細やかな対応で入居者が安心して暮らすの提供に努めている。</p> <p>・職員は、常に笑顔で穏やかに入居者と接しており、職員のケアに対する共通した思いが、入居者への安定したケアの提供につながっている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評
<p>全体を通して特に良いと思われる点など(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームの周りには、スーパーや商業施設等のほかにも、吉備津神社等歴史的的文化財もすぐ近くにあり、利便性があり、且つ歴史や文化も感じさせる落ち着いた環境の中で入居者は生活している。 ・母体法人が医療機関であり、法人全体で地域に根ざした医療と介護の提供を目指しており、医療面での万全な連携体制のもと、入居者の医療及び健康面での安心が十分に図られている。また、透折が必要な方の入居も受け入れており、入居者・家族ともに安心が得られる。そのほかにも、リハビリルームやマッサージ機能付き浴槽、ミネラル水製造機などを設置し、入居者の健康に留意した生活の場を提供している。 ・職員は、自身のレベルアップを常に心がけており、介護のプロとしての自覚のもと研鑽を積み、入居者への対応へと活かしている。職員の生き生きとした表情や対応は、入居者の穏やかな表情や生活へと反映されている。 ・入居者は、自分の出来る事を自然体で行い、自分のペースでゆとりのある生活を送っている。 ・ホーム内は、清潔で採光も良く、和と洋の調和の取れた居心地の良い住環境を入居者に提供している。
<p>特に改善の余地があると思われる点(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に改善点は無い。 <p>医療との密接な連携や地域住民との交流、運営推進会議を通しての様々な方との関わり等、恵まれた環境資源や職員の活力をホーム運営に活かし、今後のより一層の発展・向上を期待する。</p>

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>・入居者のかつての職業や、今まで過ごしてきた生活を大切にされた支援を心がけ、日常生活の中で入居者の経験が役割として充分活かせるように配慮し、やり甲斐や張り合いを持って過ごしてもらえるように働きかける。</p> <p>・入居者一人ひとりとより深く関わり理解するために、職員それぞれに係りを設けている。他の入居者に関われない事や知られたい事等、回診係りが入居者との心通う話し相手としてプライバシーに配慮しながら支援している。</p> <p>・入居者との親しい関係が築けていても、プライベートな場所での礼儀をわきま、居室やトイレなど入室前には必ず声をかけ、返事を待ってから入っている。</p> <p>・入居者の個人情報に関わる書類は、事務所のロッカーに保管して管理している。また、個人名が特定できないようにして、入居者の情報漏れを防いでいる。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>・職員は、自身の介護資質の向上が、入居者への質の高いサービスの提供に繋がると認識しており、内部でのグループワークや勉強会、外部での研修会等へ参加する機会を多く持ち、自己研鑽に努めている。</p> <p>・職員間でお互いを評価する総合チェック表があり、3ヵ月に1回程度実施し、スーパーバイザーの助言を受けながら、職員が自身の向上に前向きに取り組み、レベルアップを図っている。</p> <p>・母体法人が医療機関であり、入居者の医療・健康面での不測の事態にも、迅速な対応・指導で、入居者の安全・安心な生活を守っている。</p> <p>・事故発生時には、原因の探求や今後の対応を職員間で充分話し合っ検討し、今後のケアに活かすようにしている。また、感染症対策などのリスクマネジメント全般へも、スムーズに対応できるように取り組んでいる。</p>		